

平成26・27年度 第2回 城東区民モニターアンケート結果

「城東区に住んで良かったと思える街づくり」



城東区マスコットキャラクター

「コスモちゃん」

平成27年6月

大阪市城東区役所

【1】調査の概要

1 調査の目的

城東区役所では「城東区に住んで良かったと思える街づくり」を目指し、地域福祉システムや防災・防犯対策、地域コミュニティの充実に努めています。

街づくりを進めるにあたりましては、毎年その年の目標や重点的な取り組みを「運営方針」としてまとめ事業を行っています。

このアンケートは、区役所が行っている事業の成果や目標への達成状況についておたずねし、事業の効果や目標までの達成状況の現状把握の参考とするため、アンケートを実施します。

2 調査の実施状況

調査期間：平成27年2月19日～平成27年3月8日

方法：郵送及び電子申請アンケートシステム

対象：区民モニター登録者 350人

回答者数：305人（内訳：郵送 226人 電子申請 79人）

回答率：87.1%

3 区民モニター数及び回答者数

		区民モニター			回答者		
		男	女	計	男	女	計
計		141	209	350	126	179	305
年代別	20歳代以下	11	25	36	8	17	25
	30歳代	18	47	65	15	41	56
	40歳代	20	43	63	20	34	54
	50歳代	20	23	43	16	21	37
	60歳以上	72	71	143	67	66	133

参考：各設問のnについては、回答対象者、【 】については回答数です。

数値(%)は、各実数をもとに比例表示し、小数第2位を四捨五入しているため内訳の合計が全体の計に一致しないことがあります。

年齢については、平成26年4月1日を基準としています。

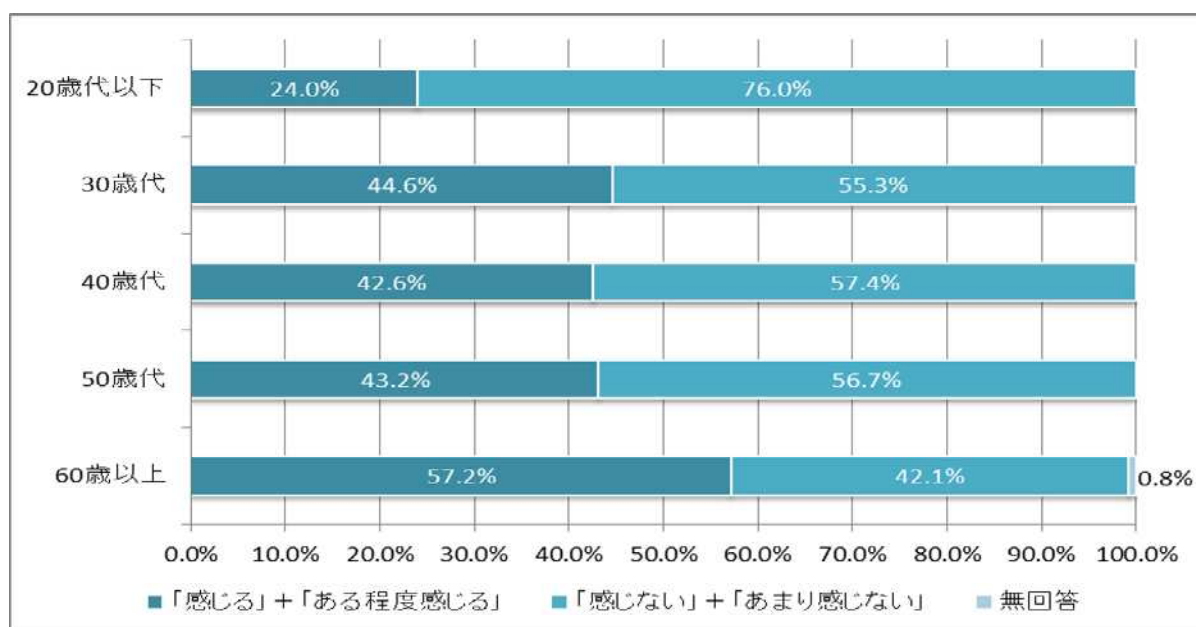
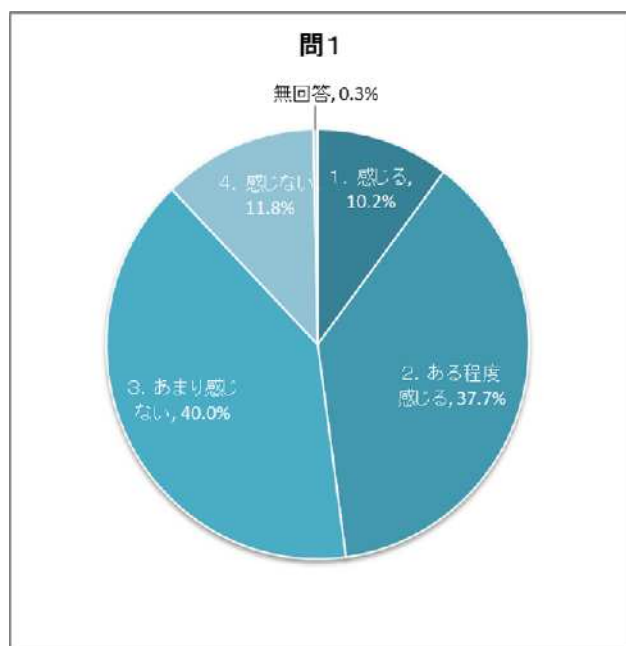
属性別傾向の考察において、サンプル数が少ないものや全体的傾向と差異がないものについてはコメントを割愛しました。

【2】調査結果の分析

問1 住民同士の「つながり」や「きずな」が増えたと感じますか。 （1つ選んでください）

1. 感じる	10.2%	【31】
2. ある程度感じる	37.7%	【115】
3. あまり感じない	40.0%	【122】
4. 感じない	11.8%	【36】
無回答	0.3%	【1】

n = 305



【全体的傾向】

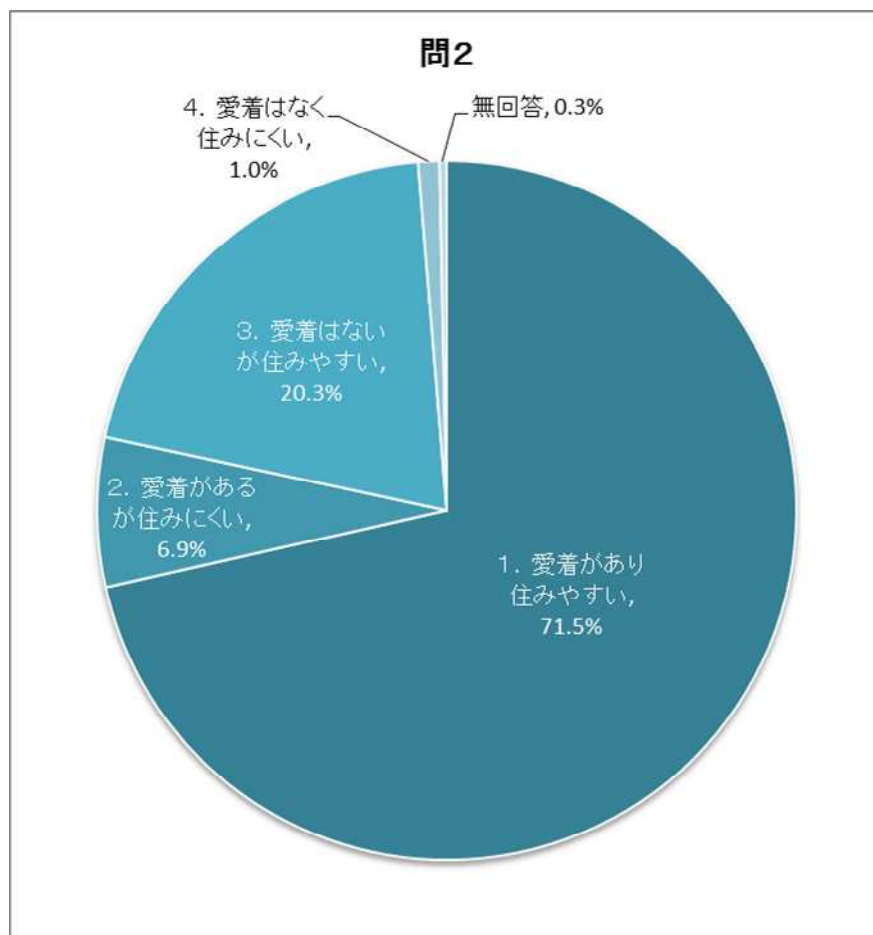
住民同士の「つながり」や「きずな」が増えたと感じますかとたずねたところ、「あまり感じない」（40.0%）が最も高く、「感じない」（11.8%）をあわせた5割の方（51.8%）が増えたと感じないと答えています。

【属性別傾向】

年代別でみると、60歳以上では「感じる」と「ある程度感じる」をあわせた方の割合が5割を超えていますが、それ以外の年代では5割に満たない結果となっています。

問2 城東区に愛着をお持ちですか。また、住みやすいまちだと思っておられますか。
(1つ選んでください)

1. 愛着があり住みやすい	71.5%	【218】
2. 愛着があるが住みにくい	6.9%	【21】
3. 愛着はないが住みやすい	20.3%	【62】
4. 愛着はなく住みにくい	1.0%	【3】
無回答	0.3%	【1】
n = 305		



【全体的傾向】

城東区への愛着と住みやすさについてたずねたところ、7割の方は「愛着があり住みやすい」(71.5%)と答えています。

愛着に着目すると、「愛着があり住みやすい」(71.5%)と「愛着があるが住みにくい」(6.9%)をあわせた8割の方(78.4%)は、城東区に愛着を持っていると答えています。また、住みやすさでみると、「愛着があり住みやすい」(71.5%)と「愛着はないが住みやすい」(20.3%)をあわせた9割の方(91.8%)は、城東区は住みやすいまちだと思っていると答えています。

【属性別傾向】

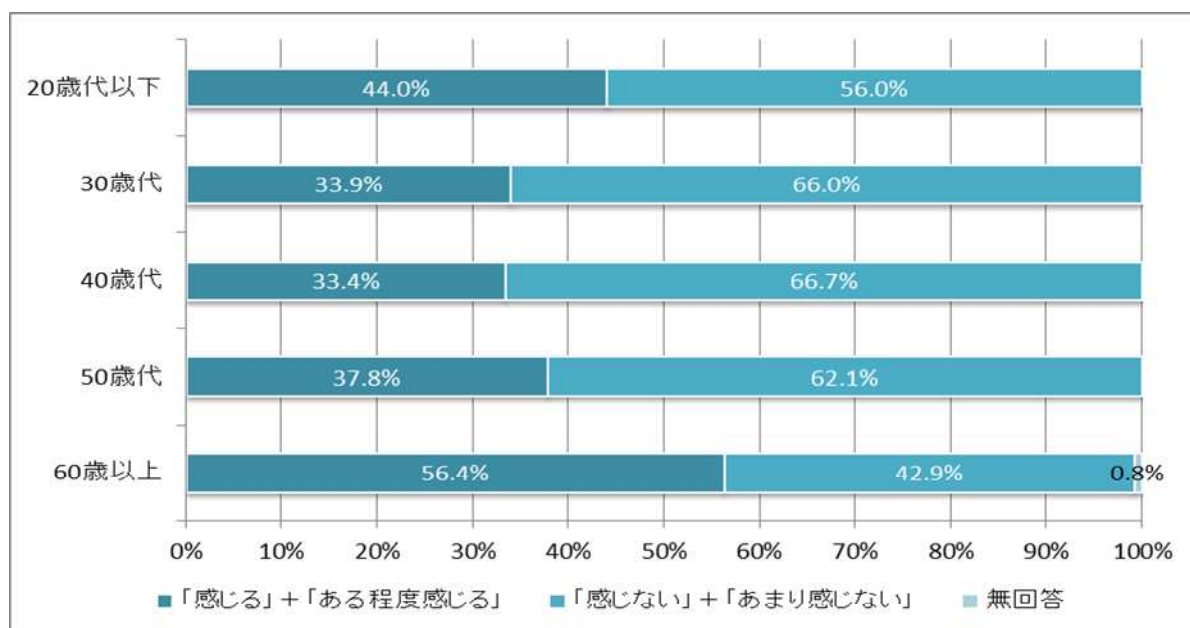
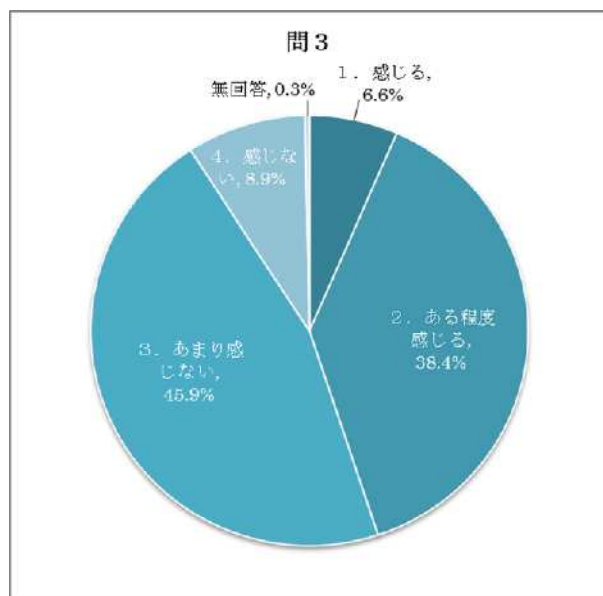
年代別でみると、50歳代で愛着があると答えた方の割合が(「愛着があり住みやすい」(59.5%)、「愛着があるが住みにくい」(8.1%)をあわせた割合(67.6%))他の年代に比べて少し低い結果となっています(20歳代以下 88.0%、30歳代 78.6%、40歳代 76.0%、50歳代 67.6%、60歳以上 80.4%)。(別紙 第2回アンケート基礎データ参照)

問3 地域での防災活動※が充実してきていると感じますか。

(1つ選んでください)

1. 感じる	6.6%	【20】
2. ある程度感じる	38.4%	【117】
3. あまり感じない	45.9%	【140】
4. 感じない	8.9%	【27】
無回答	0.3%	【1】

n = 305



【全体的傾向】

地域での防災活動が充実してきていると感じますかとたずねたところ、「感じない」(8.9%)が最も高く、「あまり感じない」(45.9%)をあわせた5割の方(54.8%)が充実してきていないと答えています。

【属性別傾向】

年代別でみると、60歳以上で「感じる」と「ある程度感じる」をあわせた方の割合が5割を超えていますが、それ以外の年代では5割に満たない結果となっています。

※地域での防災活動とは

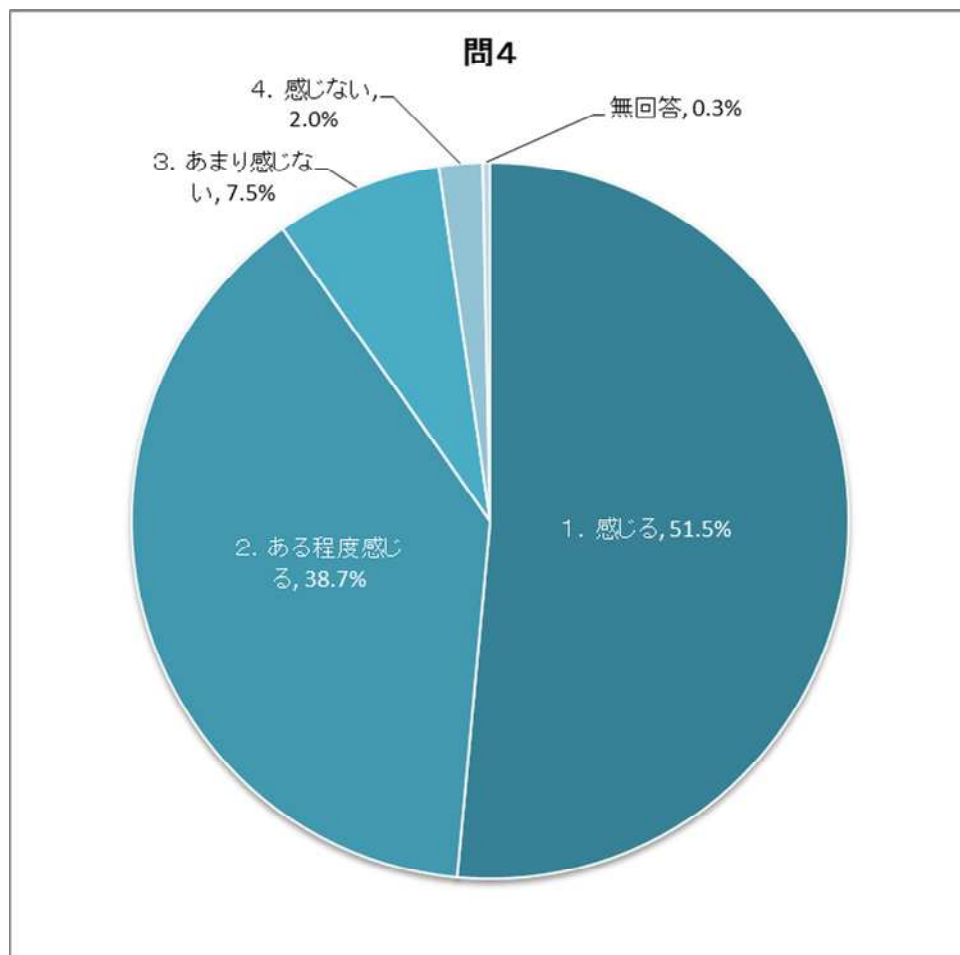
避難訓練・避難所体験・防災訓練・図上訓練・安否確認・救命救護訓練(AED等)・防災マップ作り・まち歩きなど

問4 自助・共助※による地域防災活動が必要と感じますか。

(1つ選んでください)

1. 感じる	51.5%	【157】
2. ある程度感じる	38.7%	【118】
3. あまり感じない	7.5%	【23】
4. 感じない	2.0%	【6】
無回答	0.3%	【1】

n = 305



【全体的傾向】

自助・共助による地域防災活動が必要と感じますかとたずねたところ、「感じる」(51.5%)が最も高く、「ある程度感じる」(38.7%)をあわせた9割の方(90.2%)が必要と感じていると答えています。

※自助・共助とは

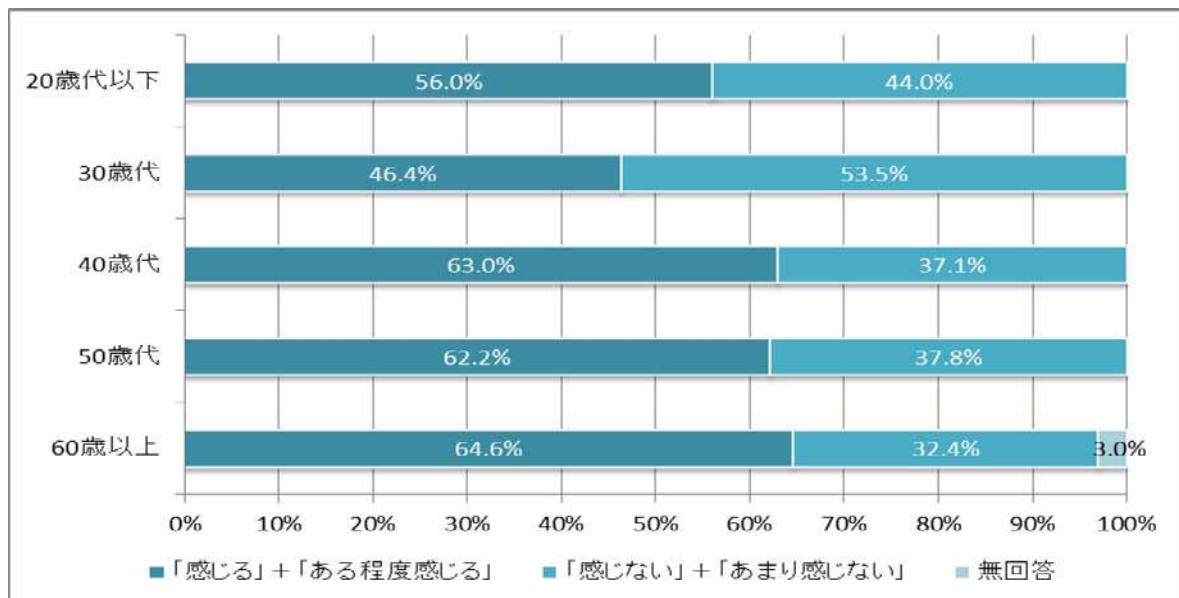
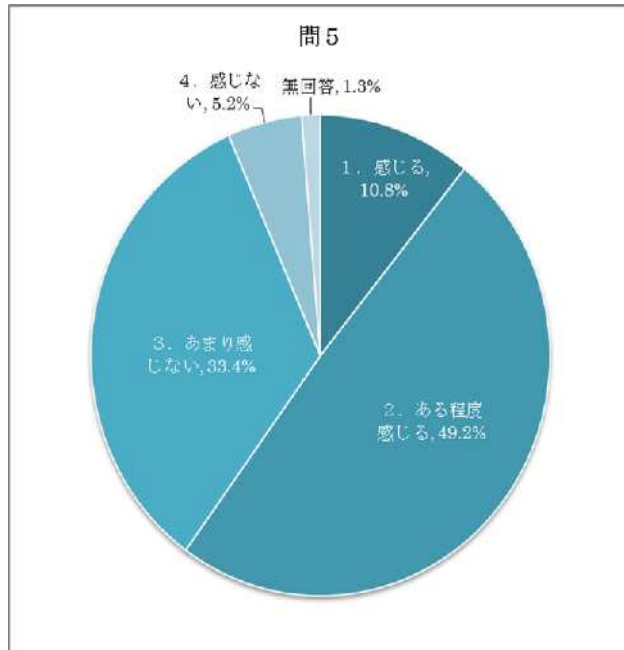
自助: 自分自身とご家族の命を守るための備えと行動

共助: 近隣のみなさんと協力し、助け合うための備えと行動

問5 子どもに対する防犯の取組みが進んでいると感じますか。 (1つ選んでください)

1. 感じる	10.8%	【33】
2. ある程度感じる	49.2%	【150】
3. あまり感じない	33.4%	【102】
4. 感じない	5.2%	【16】
無回答	1.3%	【4】

n = 305



【全体的傾向】

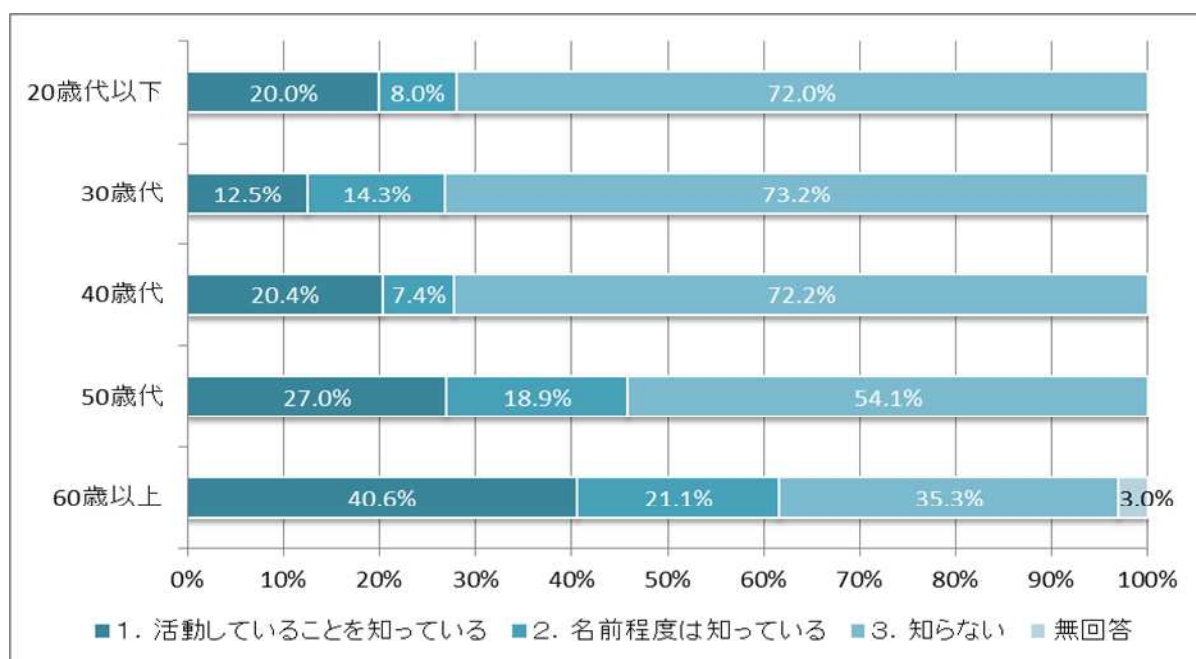
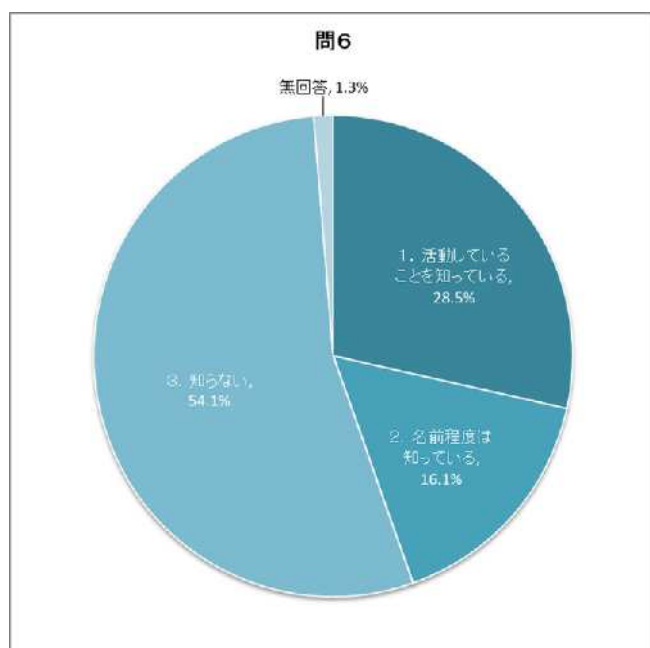
子どもに対する防犯の取組みが進んでいるかとたずねたところ、「ある程度感じる」(49.2%)が最も高く、「感じる」(10.8%)をあわせると6割の方(60.0%)が進んでいると感じています。

【属性別傾向】

年代別でみると、30歳代で進んでいると感じる割合が低い結果となっています。

問6 地域団体をはじめ、NPO、企業など地域のまちづくりに関する多様な団体が参画する地域運営の仕組みとなる「地域活動協議会」のことを知っていますか。（城東区では16地域活動協議会が設立されています。）（1つ選んでください）

1. 活動していることを知っている	28.5%	【87】
2. 名前程度は知っている	16.1%	【49】
3. 知らない	54.1%	【165】
無回答	1.3%	【4】
n = 305		



【全体的傾向】

「地域活動協議会」のことを知っていますかとたずねたところ、5割の方は「知らない」（54.1%）と答えています。

【属性別傾向】

年代別でみると、「知らない」と答えた方の割合が40歳代以下で7割を超える結果となっています。

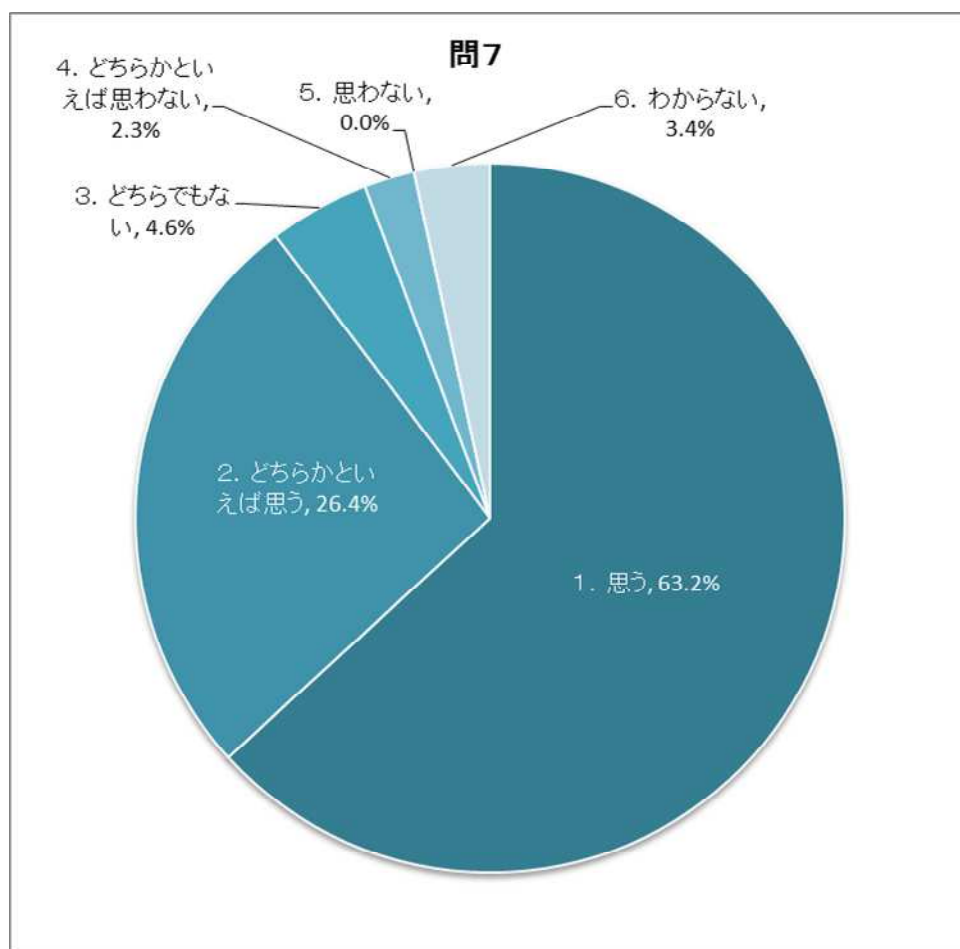
問7 (問6で「1. 活動していることを知っている」と答えた方【87名】にお聞きしました。)

各地域活動協議会では、災害訓練や地域見守り活動や歳末夜警、子育てサロンや校庭キャンプ、ふれあい喫茶や百歳体操、地域清掃や緑化活動、地域まつりや運動会、老人憩いの家の維持管理など特色ある取組が行なわれています。(地域により取り組まれている活動内容や活動名称は違います。)

これらの活動が地域のために役立っていると思いますか。 (1つ選んでください)

1. 思う	63.2%	【55】
2. どちらかといえば思う	26.4%	【23】
3. どちらでもない	4.6%	【4】
4. どちらかといえば思わない	2.3%	【2】
5. 思わない	0%	【0】
6. わからない	3.4%	【3】

n = 87



【全体的傾向】

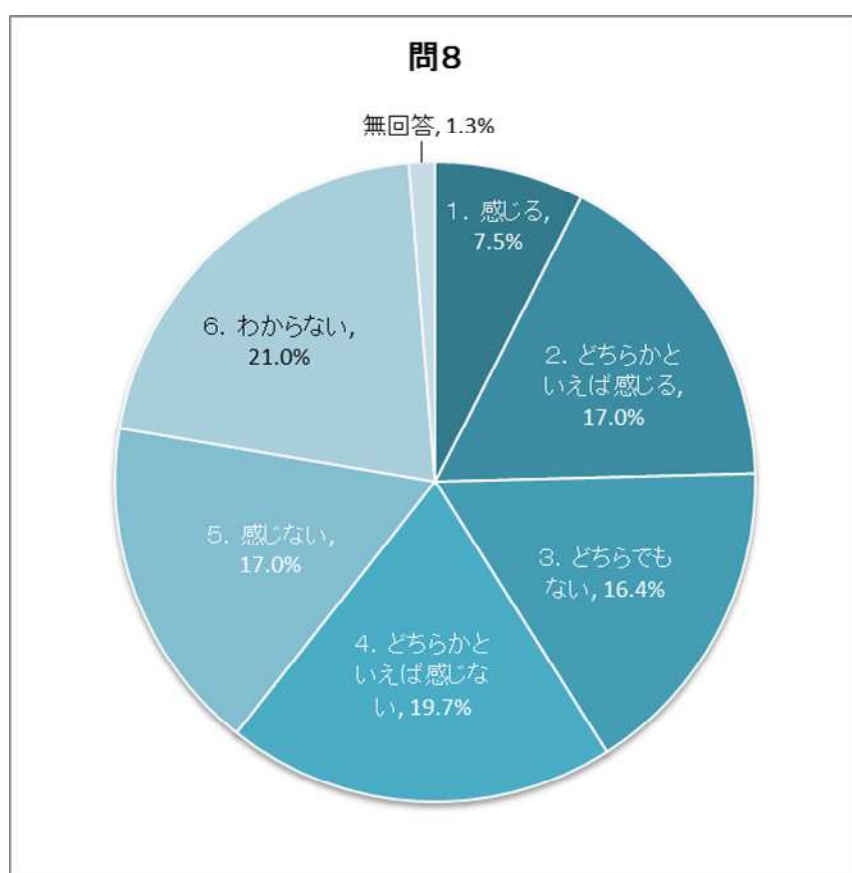
問6で「1. 活動していることを知っている」と答えた方に、地域活動協議会の活動が地域のために役立っていると思いますかとたずねたところ、6割の方は「思う」(63.2%)と答えています。

問8 地域社会づくりに向けた取組みの支援にあたって、城東区まちづくりセンターなど中間支援組織の効果的な活用が必要です。

城東区において、地域社会づくりに中間支援組織※が効果的に活用されていると感じますか。
(1つ選んでください)

1. 感じる	7.5%	【23】
2. どちらかといえば感じる	17.0%	【52】
3. どちらでもない	16.4%	【50】
4. どちらかといえば感じない	19.7%	【60】
5. 感じない	17.0%	【52】
6. わからない	21.0%	【64】
無回答	1.3%	【4】

n = 305



【全体的傾向】

中間支援組織が効果的に活用されているかとたずねたところ、「感じる」(7.5%)と「どちらかといえば感じる」(17.0%)をあわせた2割以上の方(24.5%)は効果的に活用されていると答えています。

【属性別傾向】

年代別でみると、60歳以上で「感じる」(10.5%)と「どちらかといえば感じる」(20.3%)をあわせた方の割合が3割を超えていますが、それ以外の年代では3割に満たない結果となっています。(20歳代以下 16.0%、30歳代 21.5%、40歳代 16.7%、50歳代 24.3%、60歳以上 30.8%)。(別紙 第2回アンケート基礎データ参照)

※中間支援組織とは

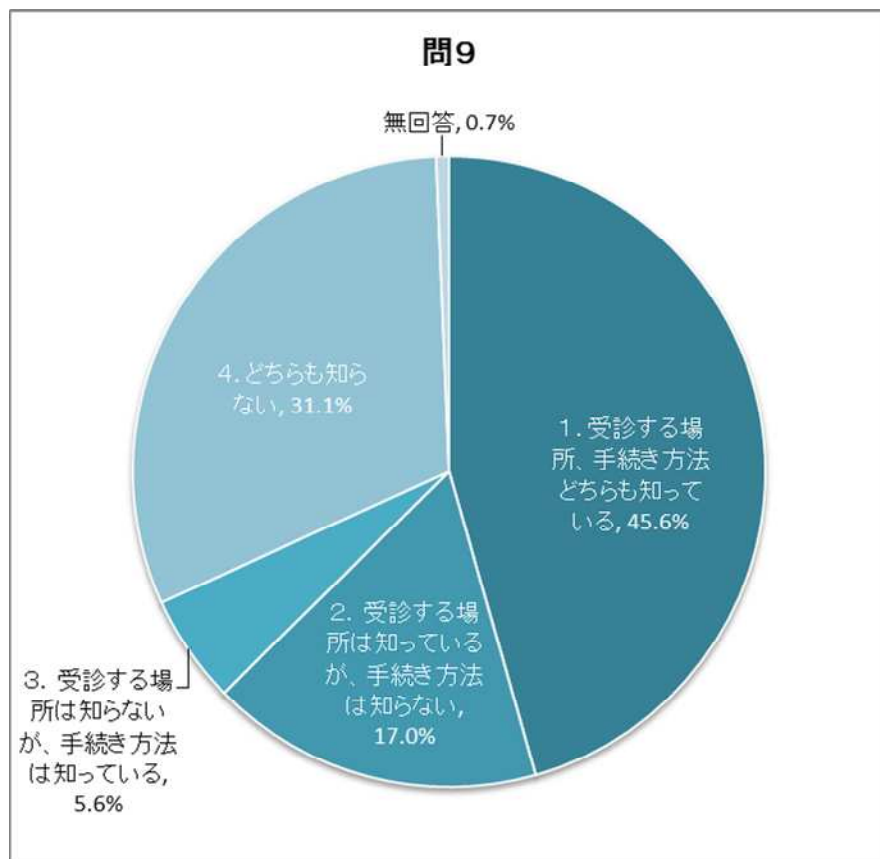
行政と地域の間に立って、社会の変化やニーズを把握し、地域におけるさまざまな団体の活動や団体間の連携を支援する組織のこと。

問9 本市が実施するがん検診の受診する場所や手続き方法を知っていますか。

(1つ選んでください)

1. 受診する場所、手続き方法どちらも知っている	45.6%	【139】
2. 受診する場所は知っているが、手続き方法は知らない	17.0%	【52】
3. 受診する場所は知らないが、手続き方法は知っている	5.6%	【17】
4. どちらも知らない	31.1%	【95】
無回答	0.7%	【2】

n = 305



【全体的傾向】

本市が実施するがん検診を受診する場所や手続き方法を知っているかたずねたところ、「どちらも知っている」(45.6%)、「場所は知っているが、方法は知らない」(17.0%)、「場所は知らないが、方法は知っている」(5.6%)と答えており、7割の方(68.2%)はがん検診に関して場所か方法どちらかは知っていると答えています。

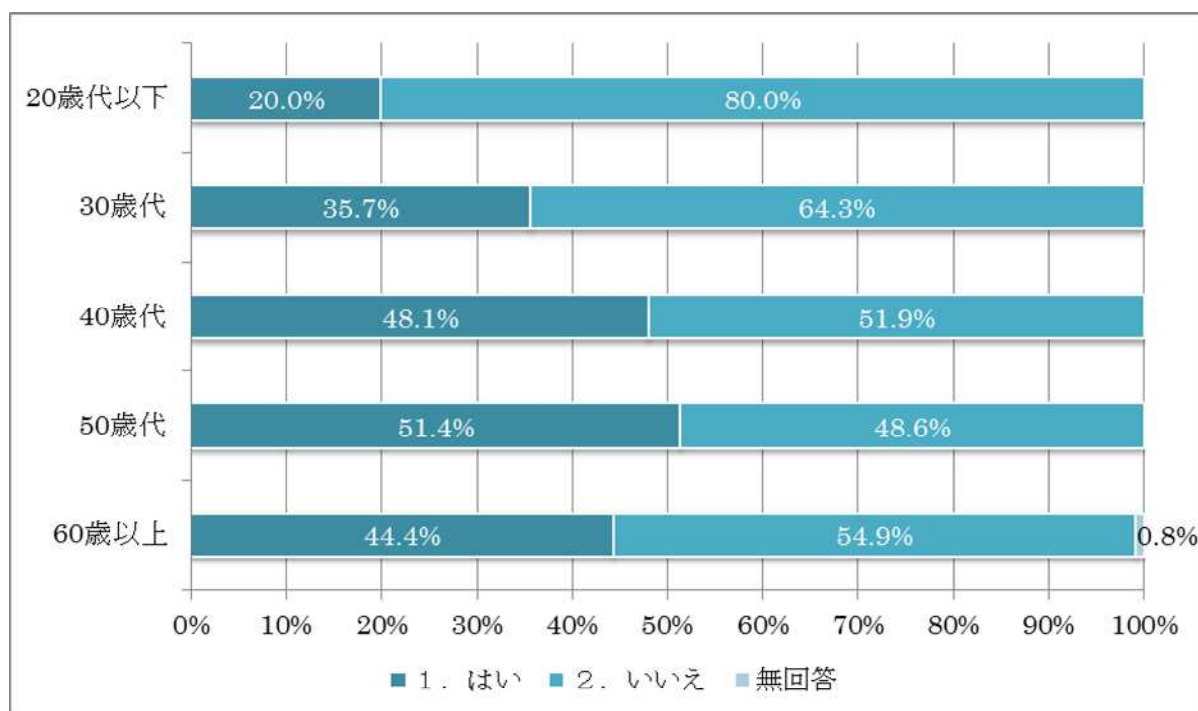
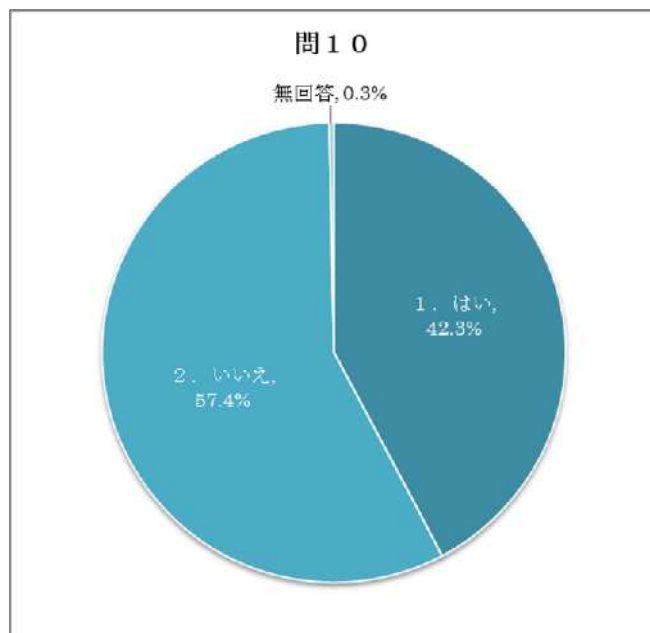
【属性別傾向】

年代別でみると、「どちらも知らない」と答えた方の割合は20歳代、30歳代で高く、60歳以上では低い結果となっています(20歳代以下 56.0%、30歳代 50.0%、40歳代 33.3%、50歳代 24.3%、60歳以上 19.5%)。(別紙 第2回アンケート基礎データ参照)

問10 がん検診を過去2年の間に、受けたことがありますか。 (1つ選んでください)

1. はい	42.3%	【129】
2. いいえ	57.4%	【175】
無回答	0.3%	【1】

n = 305



【全体的傾向】

がん検診を過去2年の間に、受けたことがありますかとたずねたところ、4割の方は受けたことがあると答えています。

【属性別傾向】

年代別でみると、「はい」と答えた方の割合が20歳代以下で低い結果となっています。

問11 (問10で「1. はい」と答えた方【129名】にお聞きしました。)

どちらでがん検診を受けましたか。

(1つ選んでください)

1. 大阪市実施のがん検診（保健福祉センター、医院、病院）で受けた

53.5% 【69】

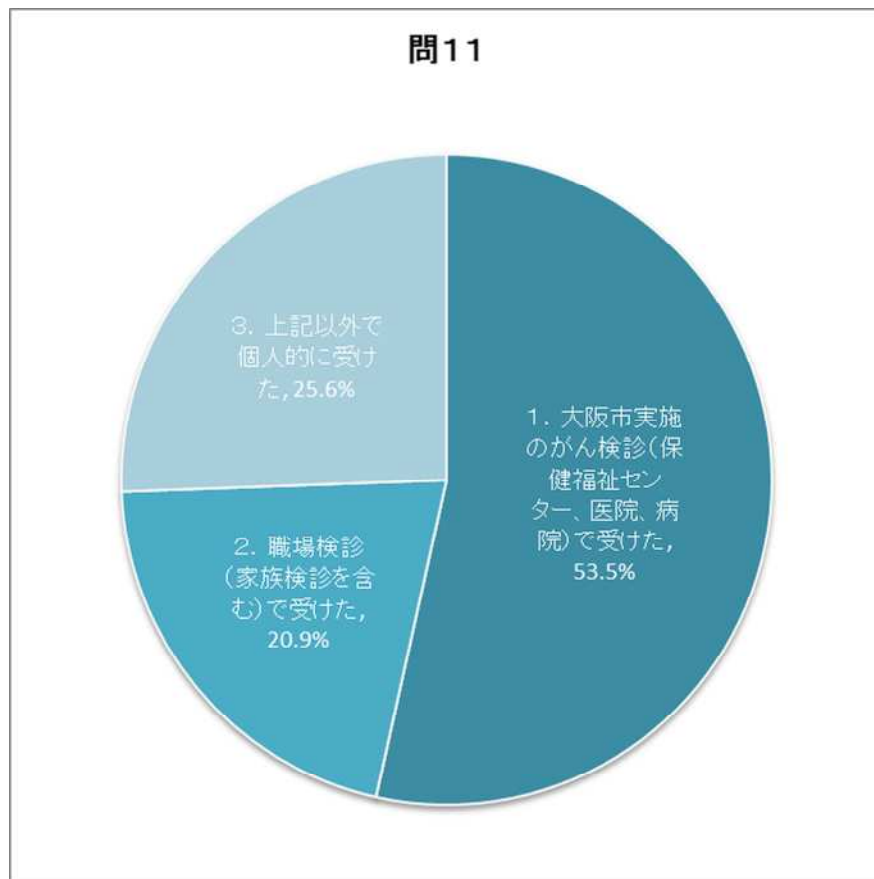
2. 職場検診（家族検診を含む）で受けた

20.9% 【27】

3. 上記以外で個人的に受けた

25.6% 【33】

n = 129



【全体的傾向】

問10で「1. はい」と答えた方にどちらでがん検診を受けましたかとたずねたところ、

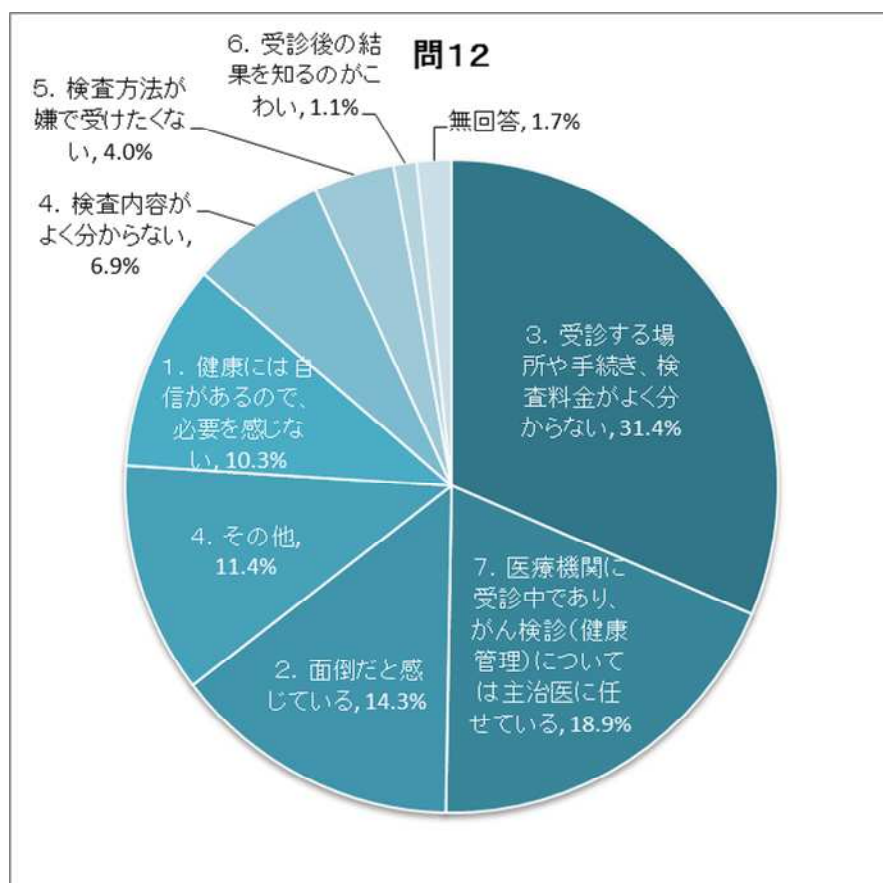
5割の方は「大阪市実施のがん検診（保健福祉センター、医院、病院）で受けた」（53.5%）と答えています。

問12 （問10で「2. いいえ」と答えた方【175名】にお聞きしました。）

がん検診を受けない主な理由は何ですか。

（1つ選んでください）

1. 健康には自信があるので、必要を感じない	10.3%	【18】
2. 面倒だと感じている	14.3%	【25】
3. 受診する場所や手続き、検査料金がよく分からない	31.4%	【55】
4. 検査内容がよく分からない	6.9%	【12】
5. 検査方法が嫌で受けたくない	4.0%	【7】
6. 受診後の結果を知るのがこわい	1.1%	【2】
7. 医療機関に受診中であり、がん検診（健康管理）については主治医に任せている	18.9%	【33】
8. その他	11.4%	【20】
無回答	1.7%	【3】
n = 175		



【全体的傾向】

問10で「2. いいえ」と答えた方にがん検診を受けない主な理由についてたずねたところ、「受診する場所や手続き、検査料金がよく分からない」（31.4%）、「医療機関に受診中であり、がん検診（健康管理）については主治医に任せている」（18.9%）、「面倒だと感じている」（14.3%）が多い順となっています。

「その他」（11.4%）の理由としては、「仕事が忙しくて、行く暇がない」、「料金が高いイメージがある」、「まだ年齢的に早いと思っている」などの記載がありました。

問 1 3 慢性閉塞性肺疾患（COPD）について知っていますか。

（1つ選んでください）

1. 名前も病気の内容も知っている

16.7%

【51】

2. 名前を知っている程度

26.6%

【81】

3. 知らない

55.7%

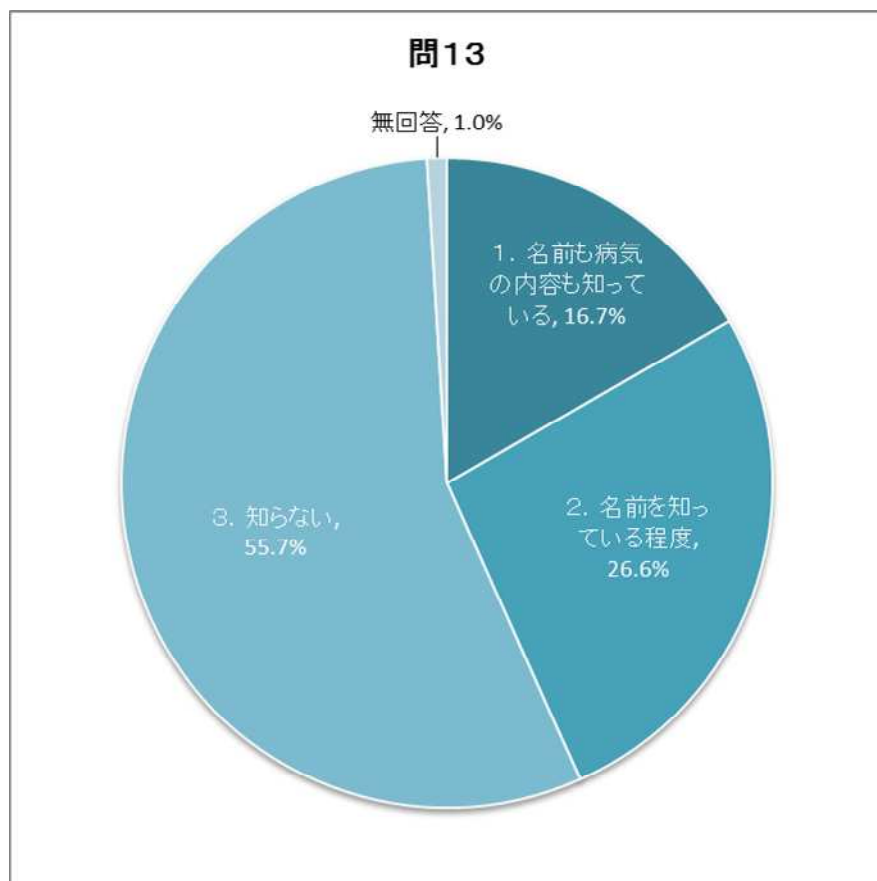
【170】

無回答

1.0%

【3】

n = 305



【全体的傾向】

慢性閉塞性肺疾患（COPD）について知っていますかとたずねたところ、5割の方が「知らない」（55.7%）と答えています。

【属性別傾向】

年代別でみると、20歳代以下で「知らない」と答えた方の割合が高い結果となっています。（20歳代以下 76.0%、30歳代 58.9%、40歳代 63.0%、50歳代 51.4%、60歳以上 48.9%）。（別紙 第2回アンケート基礎データ参照）